

2016.2.2

整備案の比較検討について

協議会 委員 難波 喬司

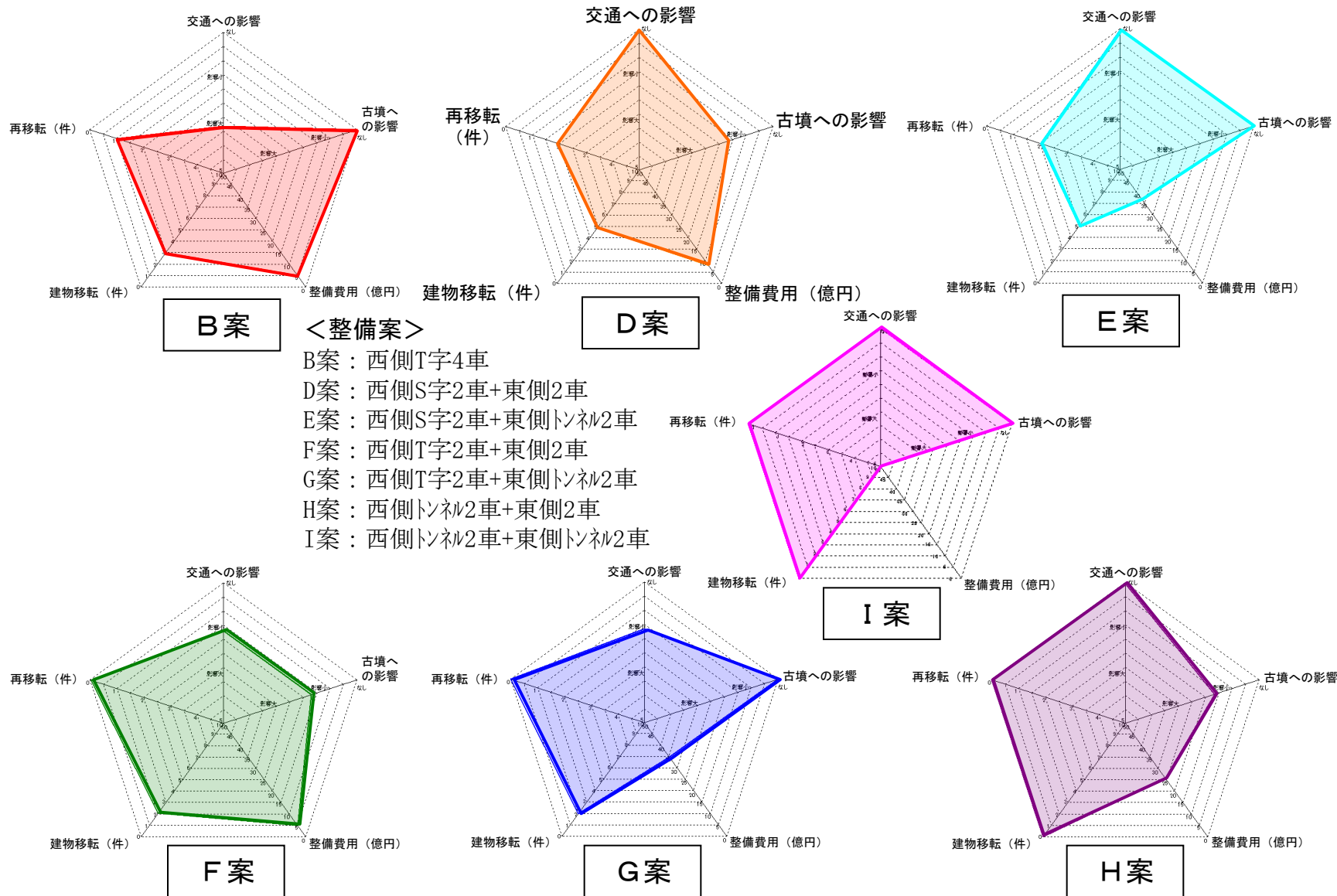
各整備案の比較検討

比較検討の考え方

- チャートは、各項目への影響の度合いを定量的に比較するもの。
- 各項目の重要度については、人により価値付けが異なるため、チャートの面積によって、各案の優劣比較はできない。
- 各案の優劣比較は、各項目に重み付け（価値評価）を行った上で、総合的な価値判断によってなされる。
- 判断を行う者は、最終的な選択（案の決定）が、どういう価値判断でなされたのか、を説明するべきである。（基礎案に対し、〇〇をより重視し、△△については影響を許容してもらい、◎◎億円の追加投資により、事業を実施することにした。）
- なお、それぞれの案で投資効果の発現までの時間が異なるが、これは比較項目として考慮していない。

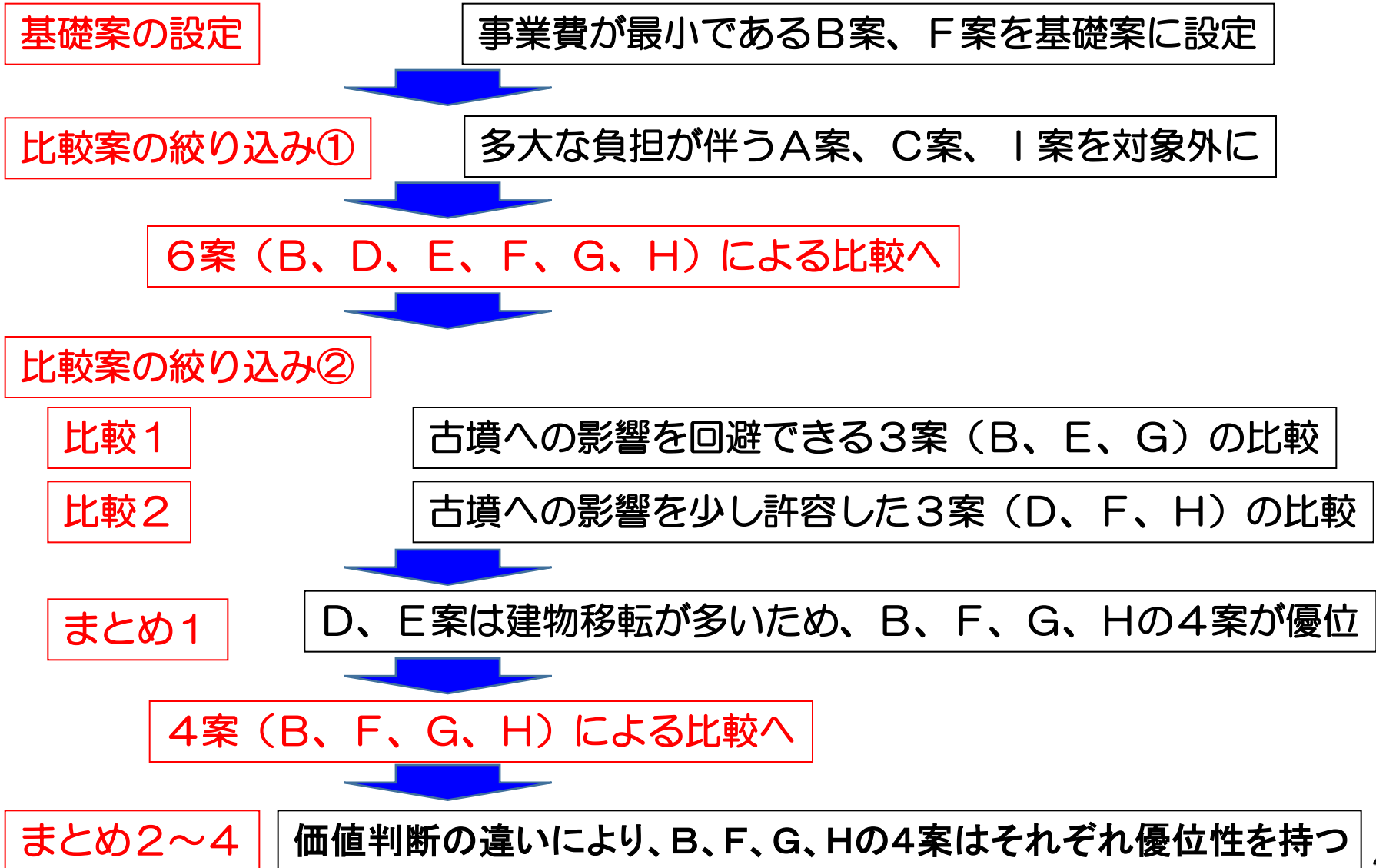
各整備案の比較検討

チャート



各整備案の比較検討

整備案の比較検討フロー



各整備案の比較検討

◆基礎案

金額が最小の5億円であるB案、F案を基礎案とする
(ここで、どちらかの案を排除することは、交通への影響重視か古墳保存への影響重視かという価値判断をこの時点で下したことになる、適切ではない。)

B案(西側T字4車線)

古墳への影響を回避できるが、交通への影響が大きく生じ、再移転(1件)で住民に負担をかける案

⇒「もう少しお金をかけて、良い案はないのか」との声があがる可能性あり

F案(西側T字2車線+東側2車線)

再移転は無くなるが、交通への影響が生じ、古墳への影響が生じる案

⇒「もう少しお金をかけて、古墳への影響を改善できないか」との声があがる可能性あり

各整備案の比較検討

B案⇔F案

B案とF案の事業費は同じ。

B案は「古墳への影響の回避」により高い価値を置く案。

F案は「古墳への影響を軽減」しつつ、「再移転の回避」と「交通への影響の軽減」も重視（かなりの価値を置く）する案。

（価値判断の問題であり、単純な影響比較で甲乙つけるべきものではない。）

各整備案の比較検討

◆比較案の絞り込み

整備案（9案）の中で、多大な負担が伴う下記3案は基礎案との較差も大きくなりすぎるため、以下の検討の対象外とする。

A案（西側S字4車線）

10億円

交通への影響や古墳への影響が回避できるが、建物移転（10件）や再移転（5件）で住民に多大な負担が伴う案

C案（トンネル4車線）

53億円

交通への影響や古墳への影響が回避できるが、整備費用が53億円必要で多大な事業費が必要となる案

I案（西側トンネル2車線＋東側トンネル2車線）

56億円

交通への影響や古墳への影響が回避できるが、整備費用が56億円必要で多大な事業費が必要となる案

各整備案の比較検討

◆比較1（古墳への影響が回避できる3案）

B案（西側T字4車線） 5億円

E案（西側S字2車線＋東側トンネル2車線） 37億円

基礎案B案に32億円かけて、交通への影響が回避できるが、再移転（2件）で住民に負担をかけるため、再移転者への合意形成が必要な案

⇒「お金をかけるわりに再移転者（2件）に負担をかけすぎ」との声があがる可能性大

G案（西側T字2車線＋東側トンネル2車線） 35億円

基礎案B案に30億円追加して、再移転を回避し、交通への影響も軽減できる案

⇒「お金をかけた分だけ効果は現れるが、30億円以上かけて交通への影響の軽減と再移転の回避をするのか」との声があがる可能性あり

各整備案の比較検討

◆比較2（古墳への影響を少し許容した3案）

F案（西側T字2車線＋東側2車線） 5億円

D案（西側S字2車線＋東側2車線） 8億円

基礎案F案に3億円を追加して、交通への影響を回避できるが、再移転（2件）で住民に負担をかける案

⇒「もう少しお金をかけて、古墳への影響を改善し、再移転（2件）を無くすべき」との声があがる可能性あり

H案（西側トンネル2車線＋東側2車線） 26億円

基礎案F案に21億円追加して、交通への影響を回避し、再移転も神社倉庫のみとなる案

⇒「お金をかけた分だけ効果は現れるが、古墳への影響を改善すべき」との声があがる可能性あり

各整備案の比較検討

◆まとめ1

古墳への影響が回避できる3案の比較

- ★B案（西側T字4車線） 5億円
- E案（西側S字2車線＋東側トンネル2車線） 37億円
- ★G案（西側T字2車線＋東側トンネル2車線） 35億円

⇒ E案は、事業費が高いわりにB案、G案に比べ、建物移転が多い（移転5件・再移転2件）ため、B案とG案が優位。

古墳への影響を少し許容した3案の比較

- ★F案（西側T字2車線＋東側2車線） 5億円
- D案（西側S字2車線＋東側2車線） 8億円
- ★H案（西側トンネル2車線＋東側2車線） 26億円

⇒ D案は、事業費は安いですが、F案、H案に比べ、建物移転が多い（移転5件・再移転2件）。F案とH案が優位。

各整備案の比較検討

◆まとめ2 まとめ1で優位となった4案（B、G、F、H）を比較する。

（B案 ⇄ G案）

B案：西側T字4車線 5億円

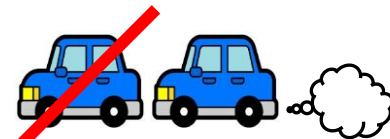
G案：西側T字2車線＋東側トンネル2車線 35億円



（B案の利点）30億円安い



（G案の利点）再移転の回避（1→0件）、交通への影響軽減



（F案 ⇄ H案）

F案：西側T字2車線＋東側2車線 5億円

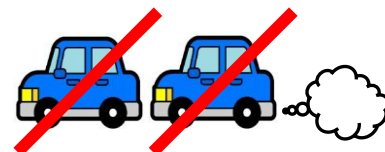
H案：西側トンネル2車線＋東側2車線 26億円



（F案の利点）21億円安い



（H案の利点）建物移転の回避（2→0件）、交通への影響の回避



各整備案の比較検討

◆**まとめ2** まとめ1で優位となった4案（B、G、F、H）を比較する。

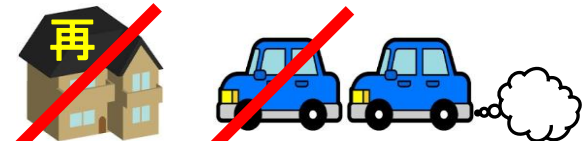
（B案 ⇔ F案）

B案：西側T字4車線 5億円



（B案の利点）古墳への影響を回避

F案：西側T字2車線＋東側2車線 5億円



（F案の利点）再移転の回避（1→0件）

交通への影響の軽減

（G案 ⇔ H案）

G案：西側T字2車線＋東側トンネル2車線 35億円



（G案の利点）古墳への影響を回避

H案：西側トンネル2車線＋東側2車線 26億円



（H案の利点）9億円安い＋建物移転の回避（2→0件）

交通への影響の回避

各整備案の比較検討

◆**まとめ2** まとめ1で優位となった4案（B、G、F、H）を比較する。

（F案 ⇔ G案）

F案：西側T字2車線＋東側2車線 5億円

G案：西側T字2車線＋東側トンネル2車線 35億円



（F案の利点）30億円安い



（G案の利点）古墳への影響を回避

（B案 ⇔ H案）

B案：西側T字4車線 5億円

H案：西側トンネル2車線＋東側2車線 26億円



（B案の利点）古墳への影響を回避

2.1億円安い



（H案の利点）建物移転の回避（3→0件）

交通への影響の回避

各整備案の比較検討

◆まとめ3

事業費の安さを重視すると（5億）

B案、F案の比較となる。

B案：西側T字4車線 5億円

F案：西側T字2車線＋東側2車線 5億円

ここで、

古墳への影響を許容した上で再移転の回避と交通への影響の軽減を重視すると ⇒ F案

交通への大きな影響と再移転の発生を許容した上で古墳への影響の回避を重視すると ⇒ B案

◆まとめ4

ある程度お金を許容すると（26～35億）

H案、G案の比較となる。

H案：西側トンネル2車線＋東側2車線 26億円

G案：西側T字2車線＋東側トンネル2車線 35億円

ここで、

古墳への影響を許容した上で交通への影響の回避を重視すると ⇒ H案

交通への影響を許容した上で古墳への影響の回避を重視すると ⇒ G案